

家庭学習のハンドブック

自ら高まろうとする子どもの育成

学びの場のある家庭づくりを

1. **基**本的な生活習慣を見直しましょう。
早寝・早起き、朝ごはん、朝の排便を大切にしましょう。
2. **家**庭の学習環境を整えましょう。
きまった場所で一定の時間、テレビを消して学習に集中しましょう。
3. **学**習習慣の定着をめざしましょう。
勉強する時間や約束など、家庭での学習のルールを決めて、実行できるようにしましょう。

※ハンドブックは再発行しませんので、大切に使うようにしましょう。

札幌市立新川小学校

小学校の学習は、将来社会人として自立するための基礎となるものです。特に「聞くこと」「話すこと」「書くこと」「読むこと」「計算すること」は、欠かすことのできない『生きるための力』の基盤です。

基礎学力を定着させ、「学ぶ力」を育てるためには学校の授業だけではなく、家庭での学習習慣が大きな役割を果たします。

家庭では子ども達の基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、決まった場所で一定の時間、学習に集中して取り組ませることが重要です。

家庭での学習習慣の定着をめざして家庭生活、家庭教育を見直し、各家庭の実情に合わせた内容や方法を考える参考資料として「家庭学習ハンドブック～自ら学ぶ子をめざして～」を作成いたしました。各家庭の事情や子どもの実態に合わせて、家での約束を家族で話し合いながら活用していただければと思います。

平成26年5月

どうして家庭でも学習しなくてはならないのですか？

学習することの習慣づけ

学校で学習したことを確実に身につけていくためには、繰り返し取り組むことが必要です。また、小さいうちから毎日机に向かうことは、学年が進むにつれて難しくなる学習内容の確実な習得へ向けて大切になります。そのため、無理なく継続して取り組める家庭学習の習慣を身につけさせることが大切なのです。

学んだことの定着・深まり・広がり

漢字の「読み・書き」や「計算」、「音読」などを確実に身につけるためには、何度も何度も繰り返して練習させることが重要です。これらのことが他のすべての学習の基礎となります。

自分で学ぼうとする意欲の育ち

授業で経験したことをきっかけに、「できそうだ・できる」「楽しそうだ・楽しかった」と感想を抱く子どもがたくさんいます。この「学ぶことの喜び」をさらに蓄積していくために、日常生活の中で課題を見つけ出し、追究していくような学習を大切にしなければなりません。このような体験が次の学びへの意欲の育ちとなってつながるのです。

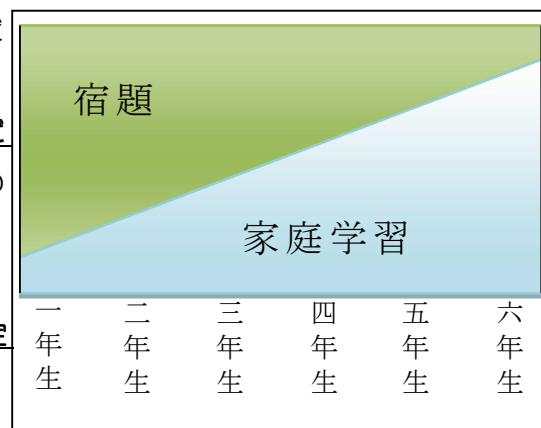
2

宿題と家庭学習の違いは何ですか？

宿題は先生が指導し内容を全員が一様に取り組む学習です。その日に学習したことをもっとしっかりと習熟することをねらったり、授業の中での様子から、以前に学習したことをもう一度復習した方が良いと考えたりした場合、また、家庭での調べ学習や活動が必要な場合に出されます。

家庭学習は、本人の意欲や学習状況、保護者の考え方に基づいて進める学習です。その子によって、もっとやってみたい学習や学習状況の実態などが違うために、取り組まれる内容は個々に違ってきます。子どもの思いや願いをもとに発展的な調べ学習、作文なども取り入れ、家庭学習の内容を充実させることでその子の持っている可能性を最大限に広げることができるのです。

家庭学習を継続していくためには、学年に応じて自分で学習計画を立て、見通しを持って適切な学習内容を設定していくことも必要となってきます。



3

どの程度やるといいですか？

宿題は内容を全部終えるまでということですが、家庭学習の場合は、ある程度の目安の時間が必要です。「学年×10分」という時間が一応の目安としてよく使われます。

ただ、これはあくまでも目安で、全員が一律と言うわけにはいきません。「低学年であれば一日1～2ページ」というような量の目安も考えられますが、1ページにかかる時間は個々によって違いますし、1ページでも内容の濃い学習をしている子どもいますので、ページ数で決められないところもあります。学年が進むにつれて取り組むべき適切な時間や量を自分で決めて、自分で実行できるようにさせたいものです。

親はどんなふうにかかわったらいいですか？

低学年の場合は、自分で正しくやっているつもりでも、勘違いや練習不足から、誤ったまま終わらせてしまうことが見られます。お家の方が丸付けをし、間違いがあれば直させるなど、確実な見取りが必要となります。間違いを必要以上に責めるのではなく、適切に助言しながらやる気を高めていくことが、その後の学習全般に大いに役立つこととなります。

高学年になると、比較的正確に自分の学習を振り返ることができるようになってきます。そのため、丸付けや間違いを直すということよりは、ご自分のこれまでの経験を踏まえながら、内容に関する適切な助言をするようにしたらいいです。

4

低学年(1, 2年生)では…

時間めやすは…

15分～30分

基本的な生活習慣を身につける

「早寝早起き」「規則正しい食事」「朝の排便」など基本的な生活習慣を身につけることが学習習慣の定着には欠かせません。

家族の助けを借りながら、学校での学習を受け学習内容や方法を決め、できたことを褒めることによって興味・関心を引き出し、意欲を高めることができます。

学校での学習の特徴

- ◇ **45**分を1時間とした授業の中で「読み・書き・計算」等の基礎的・基本的な内容を学習します。その中には繰り返し練習することで力が付く学習内容がたくさんあります。
- ◇ **「正**しい姿勢で座る」「鉛筆を正しくもつ」「明日の授業の準備をする」「身の周りの整理整頓をする」ことが、学習の基本となります。
- ◇ **生**活と結びついた学習が多く、具体物を使ったり、実際に体験したりする学習が中心となります。

5

家庭での援助

- 学校からの連絡やお便りを子どもと一緒に読みましょう。
- 学校で楽しかったことや嬉しかったことを聞いてあげましょう。
- 勉強をする場所の整理整頓を子どもと一緒にしましょう。
- 学習を始める前にテレビなどを消しましょう。
- 時間を決めて、最後まできちんとできるようにさせましょう。
- 明日の時間割を子どもと一緒に確かめましょう。
- 一緒に買い物をしたり、時計を読んだりしながら、子どもの生活体験を増やしてあげましょう。
- 子供の興味や関心、学年に応じた本を周りに置くようしましょう。読み聞かせをしてあげることも大切です。

学習の例

【国語】

- ・点や丸に気をつけて間違えずに大きな声で読む
- ・ひらがなやカタカナ、漢字を書き順に気をつけてノートに練習する
- ・漢字を使って、言葉づくりや文づくりをする

6

- ・教科書を見ながら、ノートに同じように写す
- ・その日にあった出来事を日記に書く
- ・好きな本を自分で読んだり、家の人と一緒に読んだりする

【算数】

- ・その日に学習したことをノートにもう一度やる
- ・たし算やひき算、かけ算（2年生）を使った文章題をつくる
- ・まちがった問題をもう一度解き直す
- ・時計を見て、何時何分かを読む
- ・書いたり、唱えたりしながら、九九の練習をする

【その他】

- ・生き物を観察する
- ・植物を育て、観察日記をつける
- ・鍵盤ハーモニカの練習をする



7

中学年(3, 4年生)では・・・

時間めやすは・・・

30～60分

自主的な生活習慣を身につける

自立心が芽生えてくるとともに、自分でやろうとすることが多くなり、「やる気」や「根気」が育つ時期です。言葉の獲得能力が高くなり、抽象的な思考ができるようになるといわれています。

「怠に勉強が難しくなった」という戸惑いや苦手意識をもつ子どももでてきます。自信を持たせたり、意欲を膨らませたりするような励ましが大切です。

学習の特徴

- ◇ **総**合的な学習の時間や社会、理科の学習が始まり、学習する内容も大きく広がります。
- ◇ **国**語辞典や漢字辞典、地図帳などの使い方を学び、自分で調べる学習をすることが多くなり、自学自習の基礎を学びます。
- ◇ **算**数では、四則計算（＋、－、×、÷）の基礎・基本を徹底して学ぶとともに、分数や小数など抽象的な内容も学ぶようになります。

8

家庭での援助

- 家庭での温かい助言や励ましの言葉でやる気を起こしたり、宿題や持ち物を点検したりするなどの手助けが必要です。徐々に自分でできるように支援していきましょう。
- 自分から机に向かう姿勢を育て、集中して取り組む習慣をつけさせることが大切です。
- 学習する前に、学習する場所の整理整頓を行い、自分で今日の宿題を確認させ必ずやらせましょう。学校からのお便りなど親に手渡す習慣をつけましょう。
- 社会や理科で勉強する地域社会の文化や産業、自然などに触れさせる体験をさせましょう。

学習の例

【国語】

- ・教科書の文章を声に出して正しく読む。
- ・様子を思い浮かべて工夫して読む。
- ・学習した漢字を繰り返して練習して、正しく書いたり読んだりする。
- ・漢字辞典を使って、新しい漢字の成り立ちを調べる。

9

- ・国語辞典を使って熟語の意味を調べる。
- ・ローマ字を繰り返し書いたり、読んだりして覚える。
- ・教科書に出てきた作家や同じテーマの作品を読む。

【算数】

- ・学習した内容をドリルやプリントで復習する。
- ・間違えた問題を、もう一度やり直す・
- ・学習した図形をかく練習をする。
- ・自分で問題を作って解いたり、考えを図や文を使ったりして説明する。

【その他】

- ・学習して興味をもったことを調べたり、まとめたりする。
- ・リコーダーの指の使い方を気をつけて、きれいな音で吹けるように練習する。
- ・新聞を読む



10

高学年(5, 6年生)では・・・

時間めやすは・・・

60～90 分

自主的な生活習慣を身につける

生活のリズムの乱れは学習習慣にも影響を及ぼします。もう一度生活習慣を見直し、計画的に学習を進めることが重要です。

学習に対しする意欲や興味・関心を高めるために、先生や家族の言葉がけが大切になります。目標を決めて、努力するように、あたたかく見守りながら励ましましょう。

学習の特徴

- ◇ **学**習内容が多くなり、論理的な内容や抽象的な思考を伴う学習が増えます。
- ◇ **筋**道を立てて考える力や広い視野で物事を見る力が必要になります。
- ◇ **家**庭科の学習が始まり、衣食住の基礎・基本を学びます。
- ◇ **外**国語活動が始まり、英語に親しむ活動を行います。
- ◇ **自**ら学ぶことのおもしろさや楽しさを経験することで、ものの見方や考え方を深めることができます。

11

家庭でのかわり

- 考える力が大人並みになり、自我が芽生え自分の考えを強く主張するようになります。
- 「やればできる」という気持ちをもたせ、子どもの自尊感情を育てるように、認めたり励ましたりすることが大切です。
- 家族の一員として、お手伝いや役割を決め、家庭科などで学習した内容を生活の中で実践したり、生かしたりすることができる場を設けるようにしましょう。
- 学習する場所を決め整理整頓し、計画を立てて学習が進められるようにしましょう。

学習の例

【国語】

- ・教科書の内容をつかむため、ていねいに読む
- ・大事な言葉を意識して読む
- ・漢字を正しく読み・書きができるように繰り返して練習して確実に覚える
- ・学習した漢字の意味を調べる
- ・国語辞典を使って、知っている言葉の数を増やす

12

- ・敬語の使い方を覚える
- ・自分でテーマを決めて物語などをつくる
- ・教科書に出てきた作家や同じテーマの作品を読む。

【算数】

- ・学習したことをドリルやプリントで復習し
- ・学習した内容をもう一度ノートにまとめ直す
- ・自分で作問し、自分で解く
- ・いろいろな解き方に挑戦する
- ・間違えた問題はどこが違うのかを考え直す

【その他】

- ・（理科・社会）学習した内容をノートにまとめ直す
- ・家庭科で学習したことを実際にやってみる
- ・新聞を読む



元気な返事は素敵な笑顔

「はい」のお返事が気持ちがいいです。
相手が気持ちよくなる返事をしましょう。

「はい わかりました」
「はい ありがとうございます」
「〇〇さん」「〇〇くん」

「ハイ！」

元気なあいさつ みんな明るく

元気なあいさつは、みんなが元気になります。

「おはようございます」
「いただきます」「ごちそうさま」
「こんにちは」「さようなら」
「ありがとうございます」
「おやすみなさい」



一日の生活で大事なこと

早寝 早起き 朝ご飯

毎日規則正しく、生活することが大事です。

- ・寝る時間を決めましょう。
- ・起きる時間を決めましょう。
- ・朝ご飯をしっかり食べましょう。

身だしなみは心の整理

心地よい生活が穏やかな心をはぐくみます。

- ・ぬいだふくはたたみましょう。
- ・ぬいだくつはそろえましょう。
- ・くつのかかとをふまず、きちんとはきましょう。
- ・つくえを、整理整頓しましょう。

14

今日一日、いかがでしたか？確認してみましょう。

- ☐決められた時間 勉強しましたか？
- ☐今日一日きちんと あいさつができましたか？
- ☐みんなとなかよくできましたか？
- ☐今日の宿題は ありませんでしたか？
- ☐明日の準備はできましたか？

お子さんと一緒に、その日一日の過ごし方を振り返ってください。勉強について、生活について振り返ることを習慣づけることがとても大切になります。

